

3 クレジットカード

忘れていませんか？ クレジットカードを使うということは、借金をするという事です。
皆さんも20歳になるとクレジットカードを持つことができます。

- しかし、大学生活にクレジットカードがそれほど必要でしょうか。高額な商品やサービスを買う場合でも、クレジットならすぐに支払いをしなくてもよいので便利ではありますが、クレジットはあくまで借金です。
- 返済が多くなると生活の破綻も考えられます。利用に際しては注意が必要です。
- QRコードを利用したキャッシュレス決済も普及していますが、仕組みはクレジットカードの使用と同じです。気軽だから、少額だからと使いすぎではあとあとの返済が大変になります。

1 利用するときの注意

利用は計画的に	●一般にクレジットカードの月々の返済上限は、収入の20～25%といわれています。これを超えてしまうと家計に無理が生じて、生活の破綻につながりかねません。皆さんは固定収入がない人がほとんどでしょうから、より一層の計画性と注意が必要です。
会員規約にはしっかりと目を通す	●クレジットで買い物をするということは、クレジット会社から借金をするという事です。クレジットカードの規約をしっかりと読んで、わからないことはカード会社に確認をするようにしてください。
クレジットカードは絶対に他人に貸さない	●いくら親しい友人でもクレジットカードは絶対に貸してはいけません。
クレジットカードには必ずサインをする	●カードを手にしたら、まず最初にカードにサインをしてください。これで原則としてサインをした人以外そのカードが使えなくなります。また、サインのないクレジットカードが悪用された場合、紛失盗難保険の適用が受けられないこともあります。
売上票の利用代金を確かめる	●クレジットカードを利用したときには、利用額によっては売上票へのサインが必要です。その際には利用代金の確認をしてからサインをする習慣をつけてください。また、売上票の控えは大切に保管し、後日送られてくる利用代金明細書と照合するようにしてください。

2 こんなときはカードの発行元に連絡を

クレジットカードを紛失したとき	●連絡をすれば、カード会社はただちに手続きをとって使用を停止するなど、悪用を防止してくれます。
住所や指定口座を変更したとき	●届出を怠ると、利用明細書などが届かなかったり、自動引き落としがスムーズにいかなくなるなどの不都合が生じることがあります。
売上票に不審な点があるとき	●売上票が何枚かに分けて作られた。取扱日が違う。カードの処理が店の奥で行われたなど、不審な点があった時もカード会社に連絡し、相談するのがよいでしょう。



日本クレジットカード協会 <http://www.jcca-office.gr.jp/>

